

# 葬儀社だからできる 終活を目指して



昨年暮れの流行語大賞に選ばれ最近では日々、雑誌新聞テレビなどで取り上げられる「終活」について終活の第一人者として、今をよりよく生きるために終活を提唱する一般社団法人終活カウンセラー協会 代表理事武藤頼胡氏と葬儀社だからできる終活を目指す(株)神奈川こすもす代表取締役清水宏明氏に対談していただきました。

**清水** 今、終活セミナーや終活相談会など世間の注目を浴びていますが、世間の「終活」という言葉の捉え方はまだまだ「終わりの準備」というところのように思えます。

**武藤** 終活という漢字をみても「終わる」に「活動の活」であり、婚活などは結婚活動の略だとすれば単純に「終焉活動」の略を考えるのが普通で

人は生まれたときに決まっていることがあります、それはいつか死ぬということです



すよね。

**清水** 葬儀社が「終活」と伝えるとお葬式の準備を早くしたほうがいいという啓蒙活動のようにとらわれがちですが、私は終活をした先にあるものを大切にしてほしいと考えています。

人間は「死」から逃れることができない存在であり私たちちは死の前後から遺言、医療、介護、相続、葬儀、墓、お金のことなど数多くの問題に直面します。そういうことを先延ばしにして不安を抱えていたり自分が元気なうちにしっかりと取り組み、限りある人生をいきいき過ごすほうが幸せだと思っています。

**武藤** なるほど、清水さんは終活をいきいきした人生を過ごす一助とお考へて、この価値を提供されているんですね。私も最近、死というものは生と隙間なく隣り合わせなんだなとつくづく思うようにな

ります。つい普段生活をしていると「死」と「生」には大きな隙間があるような感覚でいるんですよ。私は終活セミナーの中で「人は生まれたときに決まっていることがあります、それはいつか死ぬということです」と話すようになつたんです。

**清水** 葬儀社は、なんとなく亡くなつたあとに必要になつてくるところのイメージですが、実は私たちは、悲しみやさみしさなどをじっくり受け止めサポートをするとい

## プロフィール

(株)神奈川こすもす 代表取締役

### 清水 宏明 (しみずひろあき)

「100通りの人生には100通りの葬儀を…」との考え方から、型にはまった葬儀社主導の葬儀サービスではなく、生活者の「想い」を重視した「家族葬」を提案。安心価格をモットーにお葬式費用の低価格化と葬儀情報公開に努める。著書に『葬儀のルール』(清水宏明著 出版元:エル書房)



## プロフィール

一般社団法人終活カウンセラー協会理事

### 武藤 頼胡 (むとうよりこ)

リンテアライン株式会社代表  
明海大学ホスピタリティーアーツ学科外部講師  
「終活カウンセラー」の生みの親。自身も終活カウンセラーとして活動しながら、「終活」についての大切さを一般目線で伝えるため、毎月巣鴨・浅草でアンケートを実施中。リンテアライン株式会社では、葬祭業のコンサルタント事業を展開。お客様目線とクライアント希望の両方を加味した提案を心がけ実践中。



関わる意味は「心のケア」だなと考えています。

す。先ほど申し上げたように、「死」というものはそのことを意識した時から、一人で抱えられない、相続や介護などの実質的問題。そしてもうひとつ、「心の問題」が出てくると思うんです。そのときに普段からその心に寄り添うところに重きを置いている葬儀社がサポートをすることでも、漠然とした不安やお悩みそして言葉では表しきれない、心模様をしっかりと受け止めたいと思います。な

今までのご相談者さまでそんなケースはありましたか？

清水 これまで1万件以上の相談をいただいておりますが、皆さんの共通することは恐怖感と不信感です。ご主人を亡くされて、次はご自分のお葬儀を心配された方とは、何度も相談を繰り返し死後事務

も「もしも自分が…」なんて考えるとなんとも言えない気持ちになりますね…。そこは重要です。しかも心の部分を支えられていると思うと実質的な悩みにも向かいやすくなるように思います。

方法や手段は専門家を頼ることで解決できますが、ご本人の心は専門家もわからないことが多いと思います。そこは私たちの役どころですので、しっかりと取り組んでいます。

武藤 葬儀社だからできる終活ですね！相談者様の安心したお顔がなんだか浮かんできました。

私たちと一緒に終活を学びませんか？  
終活勉強会、終活カウンセラー資格取得など詳しくはお問い合わせください。

一般社団法人  
**終活カウンセラー協会**

住所：東京都品川区中延5-4-11 クレサンチーム 3F  
TEL:03-6676-7326 FAX:03-6322-4265

**終活カウンセラー**

**検索**



**そのなかで、私たちが大切にしている相談者さまの「希望」です。**

委任の契約をさせいただきました。

初めはお葬式のことだけだったのですが、マンションの整理や納骨のことなどお話しするうちに様々な問題がわかり、ひとつずつ解決していました。

そのなかで、私たちが大切にしているのは相談者さまの「希望」です。

確かにそうですね、私も「もしも自分が…」なんて考えるとなんとも言えない気持ちになりますね…。そこは重要です。しかも心の部分を支えられていると思うと実質的な悩みにも向かいやすくなるように思います。

武藤 ありがとうございます！

料理を教えるのも終活です。わたしまソナンことをしっかり伝えてゆきたいと思います。

清水 直接関係ないよう思われたちな葬儀社ですが、この終活というところもしっかりと取り組み大切にしていきます！今日はありがとうございました。

終活は定義のあることではないでの、自分の終焉を見据えて物事を取り組んだことは全て終活になると思っていま